

各位

2017年9月8日
株式会社リットーミュージック

駆け抜ける、あの夏の記憶—
『ギター・マガジン 2017年10月号』は、
今こそ届けたい、ジャパニーズ・フュージョン/AOR 特集。



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手がける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役：古森優）は、音楽専門誌『ギター・マガジン 2017年10月号』を2017年9月13日に発売します。

『ギター・マガジン』の詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/gm/>

■総力特集

駆け抜ける、あの夏の記憶——

徹底検証 ジャパニーズ・フュージョン/AOR

イラスト：永井博



ひと夏が過ぎ去るたびに、
ふと呼び起こされる懐かしい感情
逢いたかった人を思い出す、あの音楽。
ひとつの時代を彩った
“人生のサウンドトラック”に乗せて。

とびっきりメロウなトーン、極上のメロディ 今こそ届けたい、ジャパニーズ・フュージョン/AORの新解釈

芸術性と実験性、大衆性が極まり、“新たな波”が到来した70年代後半～80年代の音楽シーン。当時の日本では、誰もが口ずさめるグッド・メロディと都会的で洗練されたサウンド、そして極上の演奏で、爆発的な人気を博したギター・ミュージックがあった。“フュージョン”と“AOR”である。

腕利きのミュージシャンたちが最高の演奏で創り上げる、ムード満点の絶品音楽だ。その誕生から約40年の時を経た現在。

巷は80'sリバイバルに沸き、クラブではシティポップやフュージョン/AORがフロアを揺らしている。山下達郎などはもはや定番だし、“和モノ”というジャンル自体、音楽好きの必修科目と言ってもいいだろう。

そんな中、我々はささやかな提案の意味も込めつつ、改めて取り上げたい音楽がある。

それはずばり、フュージョン/AORの中でも、歌のない“インストゥルメンタル”だ。

名ギタリストたちが、シンガーや歌詞に頼らず、楽園の地から男女の愛まで表現した世界。

そこには、単なる超絶技巧だけでなく、とびっきりメロウで、歌心満載の楽曲であふれている。

この手の音楽をダサイと感じている人も、本特集で紹介する作品を知れば、新たなトビラが開くかもしれない。

全143ページの特大ボリュームで、その魅力を徹底検証しよう。



Apple Musicで名曲を聴こう！

Apple Musicで検索し、聴けるジャパニーズ・フュージョン/AORの名曲を聴け！
apple.com/jm

014 02241949W 001 2017



とびっきりメロウなトーン、極上のメロディ 今こそ届けたい、ジャパニーズ・フュージョン/AORの新解釈

芸術性と実験性、大衆性が極まり、“新たな波”が到来した70年代後半～80年代の音楽シーン。当時の日本では、誰もが口ずさめるグッド・メロディと都会的で洗練されたサウンド、そして極上の演奏で、爆発的な人気を博したギター・ミュージックがあった。“フュージョン”と“AOR”である。

腕利きのミュージシャンたちが最高の演奏で創り上げる、ムード満点の絶品音楽だ。その誕生から約40年の時を経た現在。巷は80'sリバイバルに沸き、クラブではシティポップやフュージョン/AORがフロアを揺らしている。山下達郎などはもはや定番だし、“和モノ”というジャンル自体、音楽好きの必修科目と言ってもいいだろう。

そんな中、我々はささやかな提案の意味も込めつつ、改めて取り上げたい音楽がある。それはずばり、フュージョン/AORの中でも、歌のない“インストゥルメンタル”だ。名ギタリストたちが、シンガーや歌詞に頼らず、楽園の地から男女の愛まで表現した世界。そこには、単なる超絶技巧だけでなく、とびっきりメロウで、歌心満載の楽曲であふれている。

この手の音楽をダサイと感じている人も、本特集で紹介する作品を知れば、新たなトビラが開くかもしれない。全143ページの特大ボリュームで、その魅力を徹底検証しよう。

■メロウでアーバンなカバー・アートを愛でる華麗なるジャケ写コレクション



特集の冒頭は、アノ時代を華麗に彩ったジャケット写真を愛でる。“ジャパニーズ・フュージョン/AOR”という言葉を目にした時、脳裏に浮かぶのはこんな風景。アート・ワークだけでサウンドが聴こえてくるはず。

■THE BIG 5 OF J-FUSION

日本が誇る伝説のフュージョン・ビッグ5

高中正義 / 野呂一生 / 安藤正容 (T-SQUARE)

和田アキラ (PRISM) / 今剛



GM ギター・スコアは、ジャパニーズ・フュージョンを彩った“BIG5”の名曲たちを一挙掲載！ 最もギターがフィーチャーされていたあの当時、第一線で活躍した強者たちの、タイトかつテクニカルな演奏にチャレンジしてみよう。

■Welcome to AOR Instrumental

魅惑の AOR インストの世界

角松敏生 / 幾見雅博

Welcome to AOR Instrumental

魅惑のAORインストの世界

AORと言えば基本的には歌モノだ。しかし、今回の特集にあたってさまざまな音源を聴きすすめるうちにこれはフュージョンではなくAORのインスト版だ！と叫びたくなるような、メロウかつグルーヴィな音楽に数多く出会った。それらを“AOR インスト”と分類し、フュージョンとは別枠としてピックアップ。まず、『SEA IS A LADY 2017』のリリースとともに高らかに“ギタリスト宣言”を掲げた角松敏生の“インスト”面に注目して紹介したい。

角松敏生

トビタケ 藤田 藤田 藤田 藤田 藤田

多岐なキャリアを持つ角松敏生の“インスト”面について紹介。

角松敏生はロック・ソングライターとして、プロデューサーとしても活躍している。その中でも、特に注目しているのが“AORインスト”である。これは、AORの音楽性を基盤としつつ、ロックやジャズなどの要素を取り入れた音楽スタイルを指す。角松敏生は、この分野で数々の名曲を生み出し、その魅力を多くの人に届けている。

1969年生まれの角松敏生は、1981年にデビュー。その後も数々のヒット曲を生み出し、現在でも活躍している。その中でも、特に注目しているのが“AORインスト”である。これは、AORの音楽性を基盤としつつ、ロックやジャズなどの要素を取り入れた音楽スタイルを指す。角松敏生は、この分野で数々の名曲を生み出し、その魅力を多くの人に届けている。



70年代ロックのフィアールのノビ感、80年代のファンク、90年代のハードロック、2000年代のニューミュージック、2010年代のインディーズ、2020年代のポストロック。角松敏生は、数々の音楽ジャンルを得意とし、その魅力を多くの人に届けている。その中でも、特に注目しているのが“AORインスト”である。これは、AORの音楽性を基盤としつつ、ロックやジャズなどの要素を取り入れた音楽スタイルを指す。角松敏生は、この分野で数々の名曲を生み出し、その魅力を多くの人に届けている。

シンガー・ソングライター、ギタリスト、プロデューサーとしてジャパニーズAORを体現し続ける音楽家。

AOR と言えば基本的には歌モノだ。しかし、今回の特集にあたってさまざまな音源を聴きすすめるうちに“これはフュージョンではなく AOR のインスト版だ！”と叫びたくなるような、メロウかつグルーヴィな音楽に数多く出会った。それらを“AOR インスト”と分類し、フュージョンとは別枠としてピックアップ。まず、『SEA IS A LADY 2017』のリリースとともに高らかに“ギタリスト宣言”を掲げた角松敏生の“インスト”面に注目して紹介する！

■ギタリスト必聴ディスク・ガイド

ギタマガが本気でオススメする“マジ推し”な名盤を紹介。AOR のインスト版と言えそうな”Mellow Groove / AOR”、ラテンやジャズファンク、ジャズロックなどのノリを打ち出したグルーヴィー・サイド”Hot Feel / Funky & Latin”、その遺伝子を継ぐ現代のクールな作品群”Endless Mellow Summer”の 3 部構成でお届け。松原正樹、岩見和彦 (NANIWA EXPRESS)、鳥山雄司ら名手の紹介コーナーも！

■ギタリスト/DJが選ぶ 今聴きたい、ギターがイケてる ジャパニーズ・フュージョン / AOR 名盤

大特集の最後は、識者が選んだ名盤たちをご紹介！ また、今回はギタリストだけでなく、クラブでフュージョン・イベントを主催し、フロアで艶やかなメロウ・ギター・サウンドを鳴り響かせている DJ 陣にも選盤をお願いした。

■Featured Guitarists

the band apart

本誌のためだけにスペシャル・セッションを敢行！

「エーゲ海」、「暴力探偵」の2曲を付録CDに収録。



結成 20 周年目前の the band apart がギタマガ読者に贈る、特別なセッション企画が実現！ 新作『Memories to Go』リリース・ツアー開始前日の多忙なスケジュールの中、フル・メンバーでのジャムを録音することに成功した。今回は川崎&荒井のギター・コンビネーションがよりわかるよう、それぞれボリュームを下げた音源も同時収録。プレイをコピーするだけでなく、ぜひ川崎/荒井とのセッションを楽しんでみてほしい。新作インタビューも含む全 24P で、唯一無二のバンド・アンサンブルの秘訣に迫る！

<その他のコンテンツも盛りだくさん！>

《雑誌》

『ギター・マガジン 2017年10月号』

特集：徹底検証 ジャパニーズ・フュージョン/AOR

発売：9月13日

特別定価：980円（本体907円＋税）

仕様：A4変型判/250ページ

詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/gm/>

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング □設立：1978年4月10日
□資本金：1億円 □決算期：3月31日 □従業員数：81名（2016年4月31日現在） □代表取締役：古森優
□事業内容：音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。2017年4月1日にグループ創設25周年を迎えました。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報宣伝担当

Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp